

大会規定

1. 競技方法

- (1) 11チーム(開催県3、その他の県は各2)によるトーナメント方式とする。
- (2) ルールは、(財)日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2006/2007」による。
- (3) 試合時間は70分(ハーフタイムは10分)とし、競技時間内に勝敗の決まらない場合は、5分の休憩後に20分の延長戦を行い、なお決まらない場合はPK戦方式により勝敗を決定する。

2. 警告・退場

大会期間中、警告の累積が2回になった選手は、大会中の次の1試合に出場できない。退場を命じられた選手は大会中の次の1試合に出場できない。その後の処置について大会規律委員会にて決定する。

3. チームスタッフ及び選手の登録

選手25名以内、スタッフ7名以内とする。但し、試合ごとにベンチ入りできる選手は20名、スタッフは5名以内とする。なお、事前に登録していない者はベンチ入りできない。

4. メンバー表の提出と選手交代

- (1) 代表者ミーティングで登録表をコピーしたA4版のメンバー表4部を提出すること。その際に先発出場選手の背番号に を、控え選手に を付けておくこと。
- (2) 控えの選手9名のうち5名までの交代を認める。交代用紙は本部で用意する。
- (3) メンバー表提出後試合開始までの時間に、怪我等特別な理由により登録された選手が当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することができる。

5. 代表者ミーティング

試合開始70分前に会場本部にて行う。

- (1) メンバー表(先発選手に 、控え選手に をつける)4部を提出すること。
- (2) 主審のユニフォームチェックを受けるので、FP・GKの正副各1着(計4着)を持参のこと
- (3) 選手証のチェックを行うので持参すること。選手証がない場合や写真が貼られていない場合は出場を認めない。但し、選手証発行が遅れている選手については日本サッカー協会WEB登録画面(ステータス欄が日本協会承認済み)を印刷したものに写真貼付し代用することができる。

6. メンバーチェックと用具チェック

先発出場選手は各自、選手証を持って競技開始7分前にベンチ前でメンバーチェックと用具チェックを受ける。選手証の不携帯は出場を認めない。

7. ユニフォーム

- (1) ユニフォームの色は参加申込書提出時に記載されたものとし、以後の変更は認めない。また、背番号のみの変更も認めない。
- (2) ユニフォーム、ショーツ、ストッキングは、GKも含め、正の他に副として正と異なる色のものを必ず用意すること。
- (3) スパッツについては、ショーツと同色のものを使用すること。
- (4) 背番号は必ず参加登録表に登録された選手固有の番号を正・副共に一致させて使用し、ショーツに番号をつけている場合はその番号も一致させること。
また、上衣が縞の場合は、台布に背番号を付けて分かりやすくすること。
- (5) ユニフォームに表示する広告は日本サッカー協会『ユニフォーム規定』に準ずる。
- (6) 審判と同一色または類似色のユニフォームを着用することはできない。
- (7) その他、詳細は(財)日本サッカー協会『ユニフォーム規定』に則する。

8. 使用球

モルテン「ペレーダ」5号球を使用する。

9. その他

- (1) 監督会議並びに開会式は行わないこととし、事前に質問のある場合は大会事務局まで問い合わせること。また、当日の質問は会場本部の責任者まで問い合わせること。
- (2) 参加申込、参加費振込及び宿泊・弁当申込の期限を厳守すること。
- (3) 参加資格の違反・不都合な行為があった場合の処置は、大会規律委員会で決定する。
- (4) 試合中、テクニカルエリアに出て技術的指示をするものは、その都度1名とする。
- (5) チームベンチは会場本部からグラウンドに向かって左側ベンチを大会パンフレットのトーナメント表の上側に表記されているチームとし、その対戦チームを右側とする。
- (6) 試合会場での不慮の負傷については応急処置を行うが、その怪我についての責任は一切負わないものとする。尚、登録選手は必ず全員がスポーツ保険に加入済みであることとし、その後の処置については各チームで責任を持って対処すること。